



## 魅力あるネットワークの拠点を目指して ツバキヤ 代表 山口 理貴

山口さんに  
伺いました



1年前から下古山で古民家ツバキヤの運営代表をしております山口です。  
私は昨年まで那須塩原市内のNPO法人で、障害者就労支援の仕事をしていました。その中で、多くの地域の人・企業の人達と出会い、その懐の深さに支えられてきました。ふとした出会いから地域のイベントに参加したり、またその出会いから働き先が見つかったり、お互い顔が知れると、障がいの有無に関係なく、それぞれの形で地域の取り組みに参加できる仕組みが少しずつ作られていきました。  
そんな時、ふとうちの古民家でも同じような事ができないかな？と思ったのが2年前です。知り合いのツテを通じながら、地域で活動する方々とお話すると、建築士、デザイナー、医療福祉関係者、障害者施設利用者の方、農業従事者、音楽家、

芸術家など様々な方が協力して下さり、一緒に運営しております。まずはツバキヤ自体が魅力ある場所となる事を目指し、様々なワークショップを実施したり、最近では、お箏教室・読書会・お茶会・リトミック・小学校の社会科学見学等、様々な形でツバキヤを使っていただく事も増えてきました。少しずつですが地域の価値ある場所になりつつあると感じております。具体的に動く地域で活動されている人にすぐに出会える、そんな丁度よい規模感が那須塩原市も下野市も共通している良い所と感じています。  
ツバキヤという場所や活動が、少しでも地域に貢献できるように、今後も活動展開していきたいと思っております。  
活動はFacebookで随時配信しております。ぜひご覧下さい。  
<https://m.facebook.com/tsubakiya.976/>

# らいさまNEWS

### 【下野市の水のおいしさにせまる】

1984年、当時の厚生省（現・厚生労働省）は『おいしい水研究会』を発足。「おいしい水」とは何かを導きだそうとした結果、次に示した7項目の「おいしい水」の条件を定義しました。項目は以下の通りで、夕顔のしずくは5項目をクリアしており、残り2項目も概ねクリアしています。

それがおいしさの裏付けといえます。

- 1 蒸発残留物（基準 30～200mg/L）市：206mg/L
- 2 硬度（基準 10～100mg/L）市：106mg/L
- 3 遊離酸素（基準 3～30mg/L）市：9mg/L
- 4 過マンガン酸カリウム消費量(3mg/L以下) 市：0.3 未満
- 5 臭気強度（3以下）市：1 未満
- 6 残留塩素（0.4mg/L以下）市：0.2mg/L
- 7 水温（20℃以下）市平均：18.4℃



ペットボトル飲料水、夕顔のしずく、下野のおいしい水は、道の駅しもつけ等で販売しています。

### 【国際交流&国内交流】

(らいさま第4号参照)

H29年7月16日に国際交流協会が開催したティーパーティは約60人の参加があり、大盛況でした。

また、H29年8月8日に友好都市親善交流派遣団の市内小学生20名が高松市を訪問交流し、同17日には高松市小学生訪問団20名を受入れ和やかに交流しました。



何の花でしょうか？  
(6月下旬撮影)  
解答は右下

### 編集後記

今回の取材を通して感じたことは、下野市の自然資源、とりわけ水資源がとても優れていること。下野市の上水道水は、地下200mから汲み上げており、水質は年間を通じて、安定しており、水を利用した食品づくりには最適であるそうです。豆腐造り、ビール造りをなぜこの地で手掛けるのか、納得した次第です。  
(S UWA)

【表紙】 眞誠和 トマトパーク施設 (小金井1963)